

みやぎ 復興 プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：東日本大震災から4年を迎えます
 p2 みやぎ“復興人”：雄勝硯生産販売協同組合、応援職員紹介
 p3 月間ココロプレス
 p4 県からのお知らせ、復興ニュース、復興イベント情報 ほか



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1 お名前、2 お住まいの都道府県、3 ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！

トピックス

東日本大震災から間もなく4年を迎えます

東日本大震災から4年目となる平成26年度は、県震災復興計画に定める「再生期」の一年目であり、県内各地で、様々な復旧・復興事業の「完成」の知らせを耳にするようになりました。今月号は、大震災から4年目の県内の主な出来事を振り返ります。

- 平成26年 4月 1日 ◎「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン 2014～仙台・宮城春物語」開催（～6月末まで）
 4月24日 ◎仙台空港民営化について、国がその実施方針を策定・公表
 4月30日 ◎東日本大震災による県管理道路の通行止めが全て解除（石巻市・女川町）¹
 [震災により全面通行止めとなっていた県道牡鹿半島公園線（コバルトライン）の通行止めを解除。これにより、震災による県管理道路の通行止めは全て解除されました。]
 7月19日 ◎気仙沼「海の市」／「シャークミュージアム」グランドオープン（気仙沼市）²
 [震災により休止していた「海の市」とシャークミュージアムがグランドオープン。1階には、鮮魚店や土産物販、2階にはシャークミュージアムのほか、市の観光サービスセンターを設置。]
 7月22日 ◎天皇后両陛下が宮城県をご訪問（気仙沼市、登米市、栗原市、南三陸町）
 8月 4日 ◎石巻魚市場の一部利用開始（石巻市）³
 [震災により全壊した石巻魚市場では、平成27年8月の完成を目指して再建工事が進められていますが、8月4日には施設の一部が開業し、本設営業に向けて動き始めました。]
 9月 2日 ◎文部科学省が東北地方への医学部設置の認可申請を可能とする1校として「東北医科薬科大学」の構想を選定
 9月30日 ◎災害廃棄物処理施設の解体撤去と用地の原状復旧並びに返地が終了
 11月15日 ◎大島架橋本体工事の着工式開催（気仙沼市）⁴
 [気仙沼市の大島と本土を結ぶ大島架橋の事業がスタートし、工事の安全と早期完成を祈念して着工式が開催されました。架橋の愛称は「鶴亀大橋」。平成30年度の完成を目指しています。]
 12月 6日 ◎常磐自動車道のうち、未開通の相馬一山元 IC と浪江一南相馬 IC 間が開通（山元町ほか）
 平成27年 2月12日 ◎「東北4県・東日本大震災復興フォーラム in 東京」開催
 [被災4県（青森県・岩手県・宮城県・福島県）と東京都共催で、震災の風化防止・風評払拭と継続的な支援を呼びかけるため、都内でフォーラムを開催しました。]
 3月11日 ◎東日本大震災から4年
 3月14日 ◎国連防災世界会議が仙台市で開催（～18日）
 3月21日 ◎おながわ復興まちびらき2015春 ～新女川駅・女川温泉ゆぼっぽ開業～（女川町）



1 コバルトライン



2 シャークミュージアム



3 石巻魚市場



4 大島架橋本体工事着工式

【関連リンク先】 復興の進捗状況について <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>



石巻市雄勝地区で生産される国指定の伝統的工芸品「雄勝硯」。かつては日本の硯の90パーセントを生産したと言われているほか、硯の原料となる雄勝石（スレート）は、東京駅の屋根にも使われています。

震災で施設などが流出しましたが、現在は仮設工房で生産を再開し、平成26年12月には、特許庁の地域団体商標に登録されました。県内で地域団体商標の登録は6件目、工芸品としては初めての登録であり、復興へのさらなる弾みになることが期待されます。今月号は、雄勝硯生産販売協同組合の千葉隆志さんにお話を伺いました。

●組合の取り組みを教えてください。

昭和30～40年代のピーク時には、硯工人は約300名いましたが、年々人数が減り続け、現在は5名となっています。震災では施設などが全て流出し、一時は雄勝硯の生産が途絶えてしまうのではないかと危ぶまれる時期もありましたが、全国から延べ6,500人にもおよぶ多くのボランティア、そして組合員の生産再開を決して諦めない強い気持ちにより、復旧に向けて着実に歩みを進めてきました。平成26年6月には仮設工房が完成し、主力製品の雄勝硯のほか、雄勝石を使った石皿などの生産を続けています。

雄勝硯などを町の復興のシンボルとして、今後も生産を続けていきたいと思っています。

●今後の取り組みについて教えてください。

今後は、製品を世界へアピールしていきたいと考えております。その一環として平成27年の5月より開催されるミラノ国際博覧会への出展などを計画しています。

また職人が高齢化しているため、今後は技術の継承に力を入れていきたいと思っています。



千葉隆志さん

問 雄勝硯生産販売協同組合 ☎0225-57-2632

所 石巻市雄勝町雄勝伊勢畑84-1



仮設工房（旧総合支所）



工房内での作業の様子



雄勝硯



雄勝石を用いたお皿や時計など

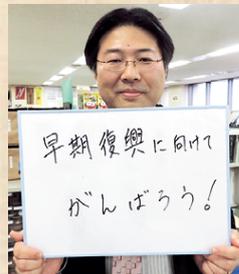
全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol. 29



氏名 亀山 裕康 (カメヤマ ヒロヤス)
派遣元 北海道
所属 河川課

北海道はとても広いので、地域によって様々な特色があります。宮城県には派遣される前にも3回ほど来ており、松島の景色が印象に残っていました。派遣されてからは、蔵王に行ってお釜を見ましたが、エメラルドグリーンの湖面が素晴らしかったです。休みの日には自動車ですべて東北六県を巡っており、それ以外にも金沢まで車で行ったこともあります。宮城県では復旧工事の契約関連の業務を担当しており、県沿岸部の河川及び海岸を対象としています。宮城の復興のために、残りの任期も邁進したいと思っています。



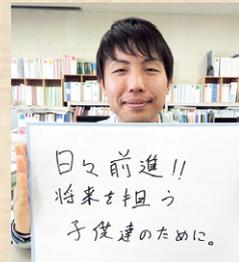
氏名 木戸 隆行 (キド タカユキ)
派遣元 北海道
所属 河川課

昨年4月から北海道より派遣され、河川災害復旧工事の契約業務を担当しています。北海道でも契約業務をしていたことがありますが、手続きなど違う部分が多く、戸惑うことも多かったです。震災当時は、石巻で1週間ほど避難所の支援活動をし、避難者の要望を市役所に伝えたり、救援物資の配給をしました。出身は岩手県なので、東北にはとても縁があります。残り少ない任期ですが、これからも復興が進んでいくよう、宮城、そして東北のため、精一杯仕事をしたいと思っています。



氏名 佐々木 優一 (ササキ ユウイチ)
派遣元 鳥取県
所属 建築宅地課

砂丘で有名な鳥取県から来ました。鳥取は人とのつながりが濃密で昔ながらのコミュニティが残っているのが魅力です。宮城県では、気仙沼で食べた新鮮な魚介類がおいしく感動しました。定食の盛り付けも多くて、おなか一杯になるまで食べることができます。宮城県には希望して来て、高台移転のために山を切り開く許認可の業務を担当しています。現場にもよく行きますが、担当した土地に建物が建つを見て復興が着実に進んでいるのを実感しました。今後も人とのつながりを大切に、仕事を全うしたいです。



氏名 岡村 祥史 (オカムラ ヨシフミ)
派遣元 埼玉県
所属 施設整備課

埼玉県は、古墳群や忍城(おしじょう)など史跡が豊富です。また、川越市の小江戸と呼ばれる街並みもお勧めです。宮城県では、松島の雄大な風景に心打たれ、2ヶ月に1回訪れています。業務は津波被害の復旧で国庫補助金の書類作成を担当しています。水産高校艇庫や気仙沼向洋高校の被災状況を目の当たりにし、今なお残る生々しい傷跡が印象に残りました。そして、学生達の助けになりたいとの思いを抱きました。今年度で完成できる業務ではないので、今後も業務に邁進しつつ、後任の方へバトンを渡したいと思っています。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1500記事・100万アクセスを超えました。



ココロプレス 検索

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



2015年1月26日 月曜日掲載

女川駅ができるまでのカウントダウン 5・4・3・2・1(女川町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/01/54321.html

3月21日予定のJR石巻線全線開通まで間もなく。線路の復旧工事はもちろん、震災前の場所から約200メートル内陸のかさ上げした地盤上に移設される女川駅や駅周辺の整備も、休むことなく急ピッチで進められています。日々変わりゆく女川の風景。復興の大きな一歩です。



2015年1月27日 火曜日掲載

復興は支援者と手をつなぎ～名取復興支援協会(名取市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/01/3.html

震災直後からボランティア活動を続け、地元から確かな信頼を得ている「一般社団法人名取復興支援協会」。活動資金はメンバーの持ち出しとごく少数の賛助会員に頼りつつも、全国から受け入れたボランティアは延べ2,000人を超えています。



2015年2月3日 火曜日掲載

感謝の気持ちで個人で活動(山元町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/02/blog-post_12.html

1年前まで山元町役場の職員だった岩佐孝子さん。退職を機に、ボランティアのための宿泊所・地域の方の居場所として自宅を開放したほか、小学生のための「見守り隊」、子育て支援サポーターなど、さまざまな活動に取り組んでいます。



2015年2月15日 日曜日掲載

気仙沼市観光キャラクター「ホヤぼーや」の人気回復へ!(気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/02/blog-post_15.html

気仙沼市の観光キャラクター「海の子ホヤぼーや」フィギュアの「着せ替えセット」が発売されました。震災から1年ほどは水産加工品製造が難しかった中、気仙沼のお土産としてがんばった「ホヤぼーや」。久々の新製品で、人気回復を目指しています。



東京スカイツリーで復興パネル展を開催します

東日本大震災の津波により、宮城県の沿岸市町は壊滅的な被害を受けましたが、被災した市町では国内外の多くの方々からご支援を受け、総力を挙げて復興まちづくりに取り組んでいるところです。

このたび、4度目の震災の日を迎えるにあたり、これまでのご支援に対する感謝と震災記憶の風化防止への気持ちを込め「復興パネル展 in 東京スカイツリー®」を東武タワースカイツリー(株)様およびI LOVEニッポン全国観光PRサポート活動事務局様のご厚意により、沿岸市町と連携し、下記のとおり開催します。

- 実施期間/平成27年3月6日(金)～3月12日(木) 午前10時から午後6時まで
- 実施場所/東京スカイツリー5階出口フロア I LOVEニッポン全国観光PRコーナー(東京都墨田区押上1-1-2)
- 展示内容/沿岸市町の復興まちづくりの状況、震災遺物の展示、観光PR。震災4年目の3月11日には記帳所を設置予定。
- 主催/宮城県
- 問合せ先/土木部復興まちづくり推進室 022-211-3207

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukumachi/tokyosukaituri.html



「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」

東日本大震災の津波で被災した海岸防災林の再生は、国と県が治山事業により実施しています。あわせて、地域住民や団体、企業等の参加・協働による森林づくり活動を推進し、次世代への継承や海岸防災林と地域社会との密接な関わりの再生を目指しています。

県では、海岸防災林において、ボランティアによる森林づくり活動を希望する民間団体や企業等を募集していますので、詳しくは下記問い合わせ先までご連絡ください。

<募集概要>

- (1) 募集対象地域 ①岩沼市寺島地内 ②山元町山寺地内
- (2) 募集期間 平成27年9月30日(水)まで
- (3) 活動内容

植栽から下刈り等の保育までの森林づくり活動について、県、市町と協定を締結した上で、一定期間、継続的に実施していただきます。

☎ 県森林整備課 ☎022-211-2923

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sinrin/minmori.html>

民間企業と連携した復興に向けた取り組み

平成27年2月2日から3日にかけて、民間企業のご協力により、東京都で宮城県特産品フェアが開催されました。

このフェアは、東日本大震災の風化防止・風評対策のほか、宮城県を代表する物産品の紹介を通じて、一層の販路拡大を図ることを目的に、東京海上日動火災保険株式会社と宮城県の共催で、被災地域の企業も連携し実施されたものです。

当日は東京海上日動火災保険会社を会場に、復興に関するポスターを設置し、情報紙の配布等を通じて県内の復旧・復興の様子をお伝えするとともに、同社関係者の皆様に宮城県の物産などを紹介・購入いただきました。

両日で約800名の来場者があり、商品を購入された方は「まだまだ厳しい状況だとわかった。これからも被災地の皆さんに寄り添う気持ちで応援を続けていきたい」と話していました。



会場の様子

復興 イベント情報

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 内 内容等 問 問い合わせ

伝える学校の発表会(仙台市)

仙台市震災メモリアル・市民協働プロジェクト「伝える学校」の各取り組みの成果を、さまざまな形でご報告します。

日 3月10日(火)～15日(日) 10:00～21:00

所 仙台市市民活動サポートセンター地下1F市民活動シアター

問 仙台市市民局市民協働推進課 ☎022-214-8002

亘理町復興水産まつりカレイフェスティバル(亘理町)

巨大オヒョウ(2メートルのカレイ)の解体ショーや焼きガレイの試食などを行います。

日 3月15日(日) 9:30～14:00

所 亘理町荒浜にぎわい回廊商店街

問 亘理山元商工会 ☎0223-34-3121

女川町復興祭2015(女川町)

女川町の現状を伝えるイベント。今回は21日の女川駅開業に伴う町びらきのお祝いを兼ねての開催となります。

日 3月21日(土)～3月22日(日)

所 女川駅前広場、女川町町民第二多目的運動場

問 女川町復興祭2015実行委員会 ☎0225-98-7839

東北歴史博物館テーマ展示「修復された被災文化財―色麻古墳群―」(多賀城市)

東日本大震災で大きな被害を受けた色麻町色麻古墳群出土資料。その修復が無事終了したため、修復土器や未公開資料を公開します。

日 3月3日(火)～9月27日(日)

9:30～17:00(毎週月曜日休館)

問 東北歴史博物館 ☎022-368-0106

歌津春告げわかめまつり(南三陸町)

春を告げる南三陸町歌津産わかめ・生わかめ・詰め放題や、わかめ汁・わかめシャブシャブの無料試食などがお楽しみいただけます。

日 3月8日(日曜日) 10:00～15:00

所 伊里前福幸商店街特設会場

問 伊里前福幸商店街事務所 ☎0226-36-2235

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

追悼式典

県では東日本大震災で犠牲となられた方々を追悼するため、県内に追悼献花台と記帳所を設置します。

日時/3月11日(水)

9:00～17:00

会場/県庁(行政庁舎)、県大河原合同庁舎、県大崎合同庁舎、宮城県総合運動公園総合体育館(スポーツ振興財団主催)

☑ 県内の市町では下記のとおり追悼式・慰霊祭を開催します。

市町名	会場	開始時間	問い合わせ	市町名	会場	開始時間	問い合わせ
気仙沼市	気仙沼市総合体育館(ケー・ウエーブ)	14:40	0226-22-6600	多賀城市	多賀城市文化センター	14:30	022-368-1141
南三陸町	南三陸町総合体育館(ベイスайдアリーナ)	14:30	0226-29-6451	仙台市	若林区文化センター	14:20	022-214-1145
石巻市	石巻市河北総合センター(ビッグバン)	14:40	0225-95-1111	名取市	名取市文化会館	14:30	022-384-2111
女川町	女川町総合体育館	14:00	0225-54-3131	岩沼市	岩沼市民会館	14:30	0223-22-1111
東松島市	東松島市民体育館	14:30	0225-82-1111	亘理町	亘理中学校体育館	14:30	0223-34-1111
塩釜市	塩釜ガス体育館	14:30	022-364-1111	山元町	山下中学校体育館	14:30	0223-37-1111
七ヶ浜町	七ヶ浜国際村	14:45	022-357-7436	※市町村によってはこれ以外の行事も開催される場合があります			

みやぎ復興プレス 第34号

【発行日】平成27年3月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話:022-211-2408 e-mail:fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusuif/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusuif/)

「震災・復興」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/](http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/)

